サイレント・トライマット TS-FP シリーズ施工要領書

ホテル・マンションなどの階下・隣室への音の伝わりを軽減する防音床下地材

【施工要領】

下地の確認

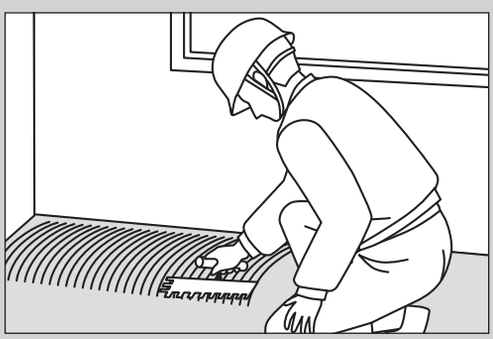
《モルタル下地》

下地は、平坦、平滑に仕上げ、施工後2週間（冬季は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認してください。

床下地材 TS-FP50WP シリーズ（以下マット）の施工

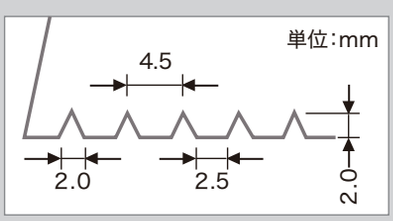
《マットの上下面とも同じ接着剤をご使用ください》

◉ ウレタン樹脂系接着剤（推奨接着剤：スーパーウレタック（㈱タイルメント社））

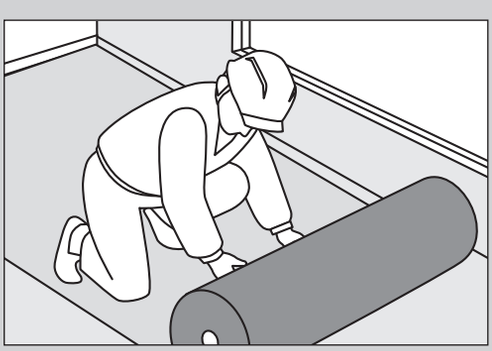


《モルタル面接着剤塗布》

◉ 規定のクシ目ゴテ（下図）を使用して塗り溜りが出来ないように接着剤を均一に塗布します。



接着剤使用量	300～400g/ ㎡ 2.5～3.3 ㎡ /Kg



《マットの張付け》

◉ 製品はロール品でのご提供になりますので事前に巻きぐせをとってください。

◉ 内巻面（灰色面）を仕上面側になるようご使用ください。

◉ マット接合部と仕上材接合部が重ならないよう割り付けてください。

◉ 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取りマットを張始め、張付け可能時間内に張り終えてください。

◉ マット貼付け後、接着剤が硬化するまで（夏期 24 時間以上、冬期 48 時間以上）の養生します。

表 1

主　成　分	ウレタン樹脂	
	待ち時間	張付け可能時間
5℃	20～30 分	60 分以内
23℃	10～20 分	50 分以内
35℃	約 10 分	40 分以内

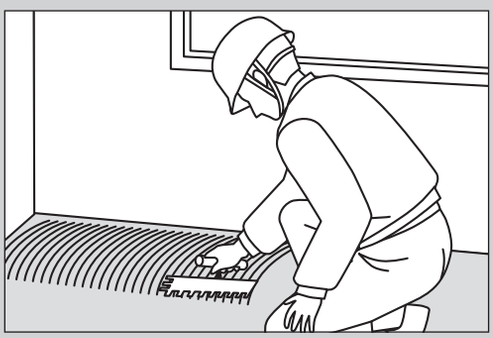
サイレント・トライマット TS-FP シリーズ施工要領書

ホテル・マンションなどの階下・隣室への音の伝わりを軽減する防音床下地材

【施工要領】

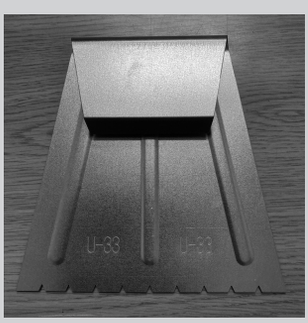
仕上げ材（塩ビタイル）の施工

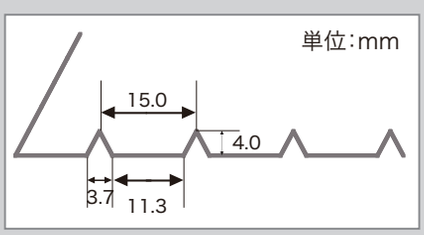
マットは防音性能を高めるための特殊３層構造のフェルト系製品です。
表面が繊維系であるため、モルタルや木質系などの硬質下地と比較して、接着剤が吸い込まれる恐れがあるので仕上材施工の際にはクシ目サイズを大きくして塗布量を増やしてください。



《マット面接着剤塗布》

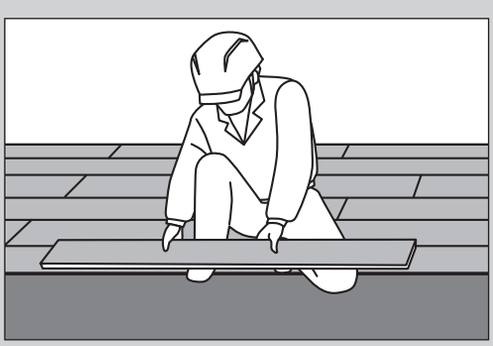
◉下図クシ目ゴテ※を使用して、塗り溜りができないように接着剤を均一に塗布します。





接着剤使用量	400 ～ 600g/ ㎡ 1.7 ～ 2.4 ㎡ /Kg

※仕上げ用クシ目ゴテは別売りになります



《仕上げ材施工》

◉下図クシ目ゴテを使用して、塗り溜りができないように接着剤を均一に塗布します。

◉塗布量が増えることで、仕上材張付け時に接着剤がはみ出す恐れがありますので圧着時にはご注意ください。

◉接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取り仕上材を張始め、表１の張付け可能時間を参考に張り終えてください。

◉仕上材張付け後、ローラーやハンドローラーなどでよく圧着します。１～２時間後に再度圧着します。
床材に浮きが認められる時は、接着剤が硬化するまで重りなどを置いて養生してください。